

# 界面スクリーニング法による医薬候補物質の探索とバイオアッセイ

○澁谷駿太、○佐藤紅空、吉田和紗、柄澤苑実、伊勢綾乃  
上野拓夢、大村希、社方陸 (KIT天然物創薬プロジェクト)  
小田忍 (金沢工業大学・ゲノム生物工学研究所)

疎水性有機溶媒と寒天平板との固/液界面に増殖するカビや放線菌を対象とする界面スクリーニングシステムは、液体培養では生産困難な**脂溶性二次代謝物の探索法**として有効である。このシステムは、**新規な医薬候補物質の発見**をもたらす可能性が高いため、他大学や産業技術総合研究所においても本格的な利用が始まっている。

本研究では、北里生命科学研究所への二次代謝抽出物の供出を目的として、約1,000株のカビの固/液界面培養を実施中である。また、得られる二次代謝抽出物の防カビ性能を評価する新規手法である**気中菌糸内向侵入距離測定法**のプロトコルの改善を目的とする検討も行った。

